

糸満周辺海域におけるフェフキダイ科魚類の浮遊生活期の調査 (幼稚仔保育場造成事業の関連調査)

金城 清 昭

1. 目的および内容

沖縄県の沿岸重要魚類であるフェフキダイ科魚類（特にハマフェフキ）の増殖を目的とする幼稚仔保育場を糸満周辺海域に造成するため、造成適地および好適魚礁の選定を目的とした調査が、昭和56年度に実施された（金城ほか、1983）。これに続いて昭和57年度と58年度には本県の沿岸重要魚類でありながら、その生理生態的知見の乏しい本科魚類の生態に関する情報を集収するために、特に浮遊生活期の生態調査を実施した。昭和57年度は月別出現と水平分布の調査、垂直分布様式の日周変化の調査、着定後の幼稚魚の採集方法の検討をテーマとして取り上げた（金城、1984）。昭和58年度は採集のインターバルを短くし、4月から6月の間に集中的な水平分布調査を実施した。

昭和56年度の浮遊生活期の調査については、金城（1983）にすでに報告した。昭和57と58年度については後日別報にて詳細に報告する予定であるので、ここでは調査方法についてのみ触れる。

調査を実施するにあたり、沖縄県水産試験場漁業調査船くろしおの比嘉永助船長ほか乗組員の方々には採集に関して多大なるご助力を賜わった。

2. 方 法

昭和58年4月から6月の間に5日から14日の間隔で5航海、各航海13定点で計65回の稚魚ネットによる夜間斜曳き採集を行なった(表-1、図-1)。

用いた稚魚ネットとその曳網方法は、金城（1983）に詳細に述べたのでここでは省略する。

調査定点は、1回の調査が1晩で終了するように、昭和57年の16定点（金城、1984）を13定点に減らした。

採集した試料は、採集後ただちにエチルアルコールで固定し、翌日試料中の白濁物を取り除いて、70%エチルアルコール溶液中に保存し、後日魚卵稚仔魚を選別した。

表-1 稚魚ネット採集の時期と定点数

	年 月 日	定 点 数	備 考
I	昭和58年 4月18～19日	13	夜間斜曳き
II	" 4月25～26日	13	"
III	" 5月8～9日	13	"
IV	" 5月17～18日	13	"
V	" 6月2～3日	13	"

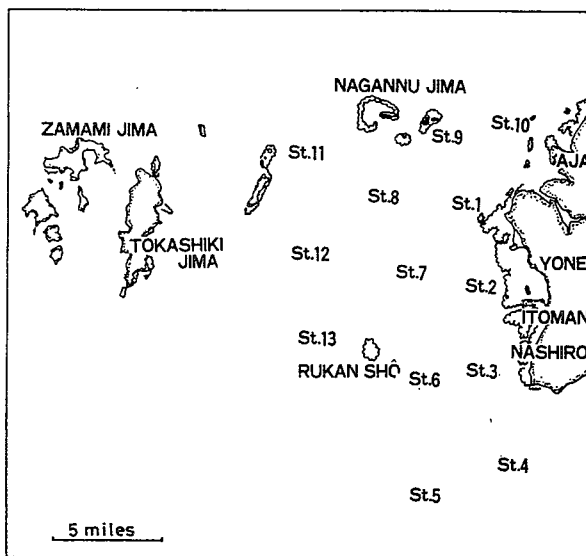


図-1 調査定点図

3. 文 献

- 金城清昭, 1983: 沖縄島におけるフェフキダイ科魚類 (Lethrinidae)の浮遊生活期の生態に関する予備的研究. 西海区ブロック浅海開発会議, 魚類研究会報, (1), 69-79.
- 金城清昭・海老沢明彦・川崎一男, 1983: 糸満周辺海域のハマフェフキ幼稚仔保育場造成事業調査. 昭和56年度沖縄県水産試験場事業報告書, 76-128.
- 金城清昭, 1984: 糸満周辺海域におけるフェフキダイ属魚類の浮遊生活期の調査 (幼稚仔保育場造成事業の関連調査). 昭和57年度沖縄県水産試験場事業報告書, 7-9.